

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

令和4年8月22日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	株式会社菅原組
所在地	北海道函館市浅野町4番16号
代表者役職・氏名	代表取締役 菅原 修
担当者連絡先	電話：0138-44-3710
	メール：info@sugawaragumi.co.jp
ウェブサイトURL	https://www.sugawaragumi.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>弊社は昭和31年に創業した総合建設業者であり、北海道・東北の港湾を中心として自社保有の作業船を活用して海上土木工事、浚渫工事の請負事業を実施している。 保有する作業船については蓄電池を導入するなどして、施工中のみならず、港湾係留中に船舶の排出するCO2削減にも取り組んでいる。</p>

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 ✓経済	次世代自動車の導入促進 (EV、PHV、HV等)	次世代自動車導入率 【現状】 66% 【目標】 100%
□環境 ✓社会 ✓経済	働き方改革と生産性向上で年間総労働時間平均を短縮する。	年間総労働時間平均 【現状】 2,043時間以内 【目標】 1,922時間以内
□環境 ✓社会 ✓経済	健康経営の推進により、肥満の人がなりやすいとされている、糖尿病、高血圧、脂質異常症などの「生活習慣病」を予防する。 これらは動脈硬化につながり、放っておくと心筋梗塞や脳卒中など生命にかかわる病気を引き起こす危険がある。	BMI25以上の比率 【現状】 45% 【目標】 30%

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している					5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している					5.1 5.2 5.5				8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる									8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している				4.4					8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる			3						8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる			3															
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる					5.1 5.5				8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している				4	5.5				8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している					5.5				8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる			3						8									
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる											11.6	12.4 12.5		14.1				
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている								7.3					13					
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている								7.2 7.3				12.4	13.3					
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる			3.9			6.3						11.6	12.4					

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																				
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	環境に配慮した施工をしている。						6.6										15		
16	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる							6.4 6.6												
17	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	ISO14001 認証取得している。			3.9			6	7				12	13.3	14	15				
18	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	環境報告書をHPで開示している。											12.6							
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	再エネ100%電力の使用(本支店営業所)							7.2						13					
20	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる												12.2	13	14	15				
製品・サービス	21 【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	ISO45001 認証取得している。			3.9									12.4						
	22 【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	ISO9001 認証取得している。									9									
	23 【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	グリーン購入を進めている。							6					12	13	14	15			
	24 【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	地域の防災活動に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
社会貢献・地域貢献	25 【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している					4						9	11	12		14	15		17	
	26 【社会貢献活動】 ・ 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	海岸清掃や交通安全街頭啓発など、多種多様な活動を行っている。				4							11			14	15		17	
	27 【地域資源】 ・ 地域資源を積極的に利用(地産地消、地産外商)している	地産地消を積極的に行っている。									8	9		11	12	13				

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 北海道函館市浅野町4番16号

名称： 株式会社菅原組

代表者： 代表取締役 菅原 修

登録年月日： 令和4年9月21日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 ✓経済	次世代自動車の導入促進（EV、PHV、HV等）	次世代自動車導入率 【現状】 66% 【目標】 100%	【現状】 70.21%
□環境 ✓社会 ✓経済	働き方改革と生産性向上で年間総労働時間平均を短縮する。	年間総労働時間平均 【現状】2,043時間以内 【目標】1,922時間以内	年間総労働時間平均 【現状】 1,954時間以内
□環境 ✓社会 ✓経済	健康経営の推進により、肥満の人がなりやすいとされている、糖尿病、高血圧、脂質異常症などの「生活習慣病」を予防する。 これらは動脈硬化につながり、放っておくと心筋梗塞や脳卒中など生命にかかわる病気を引き起こす危険がある。	BMI25以上の比率 【現状】 45% 【目標】 30%	BMI25以上の比率 【現状】 50%